

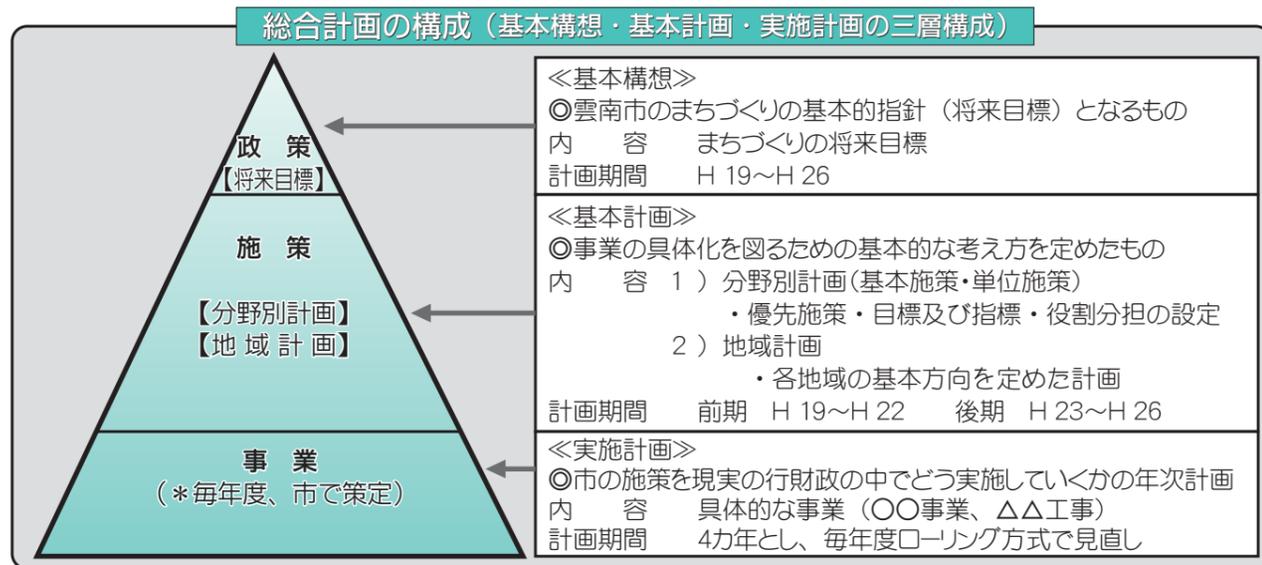
雲南市総合計画策定に向け

～雲南市総合計画とは～

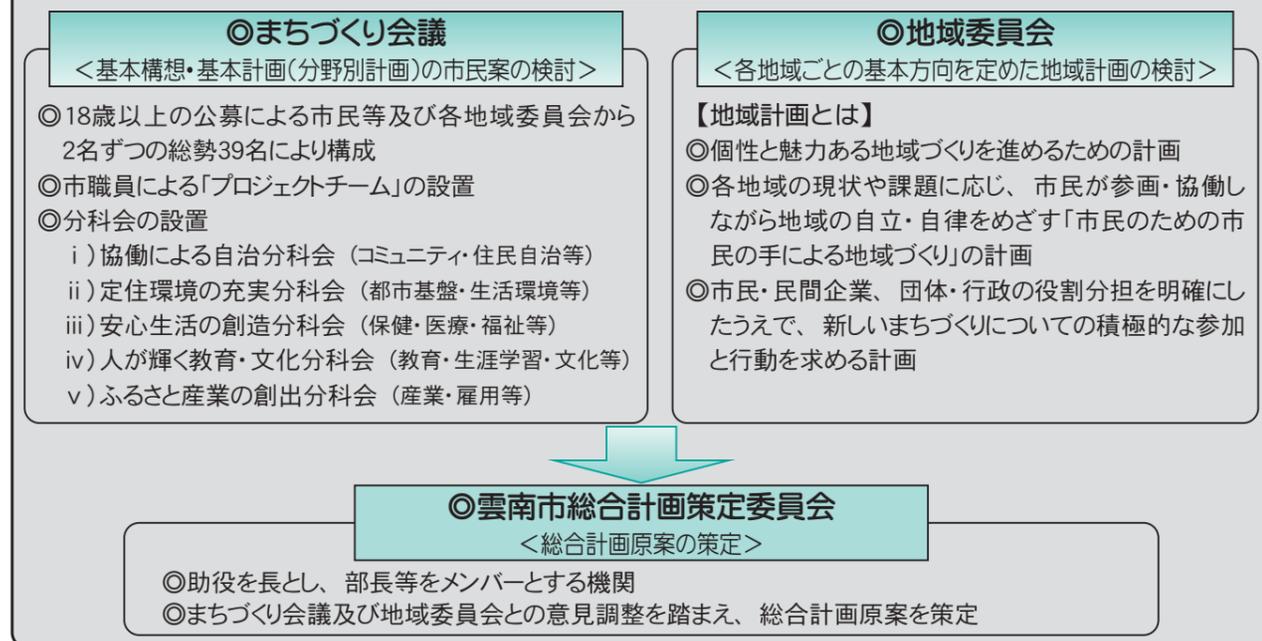
いのち
『生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり』をめざして！

◎本市のまちづくりの総合的な計画として、最も上位に位置づけられる計画であり、総合的・計画的な行政運営を進めていく上での基本的な指針となるもので平成18年度中に策定し、平成19年度より本計画に基づきまちづくりを進めていきます。

総合計画策定の概要



総合計画の策定方法



実験期間：平成17年12月1日～平成18年1月31日 雲南市ふるさと通貨(地域通貨モデルシステム実証実験)事業の実施報告

雲南市では、総務省の支援を受け、都市住民との交流や地域経済の活性化を目的とした「雲南市ふるさと通貨」(地域通貨)の利用実験を2ヶ月間行い、電子行政の推進のための住民基本台帳カード(住基カード)の普及を推進しました。



期間中、377名の方と22団体のみなさんにご協力頂き、住基カードも昨年11月から3月末までに、320枚増やすことができました。

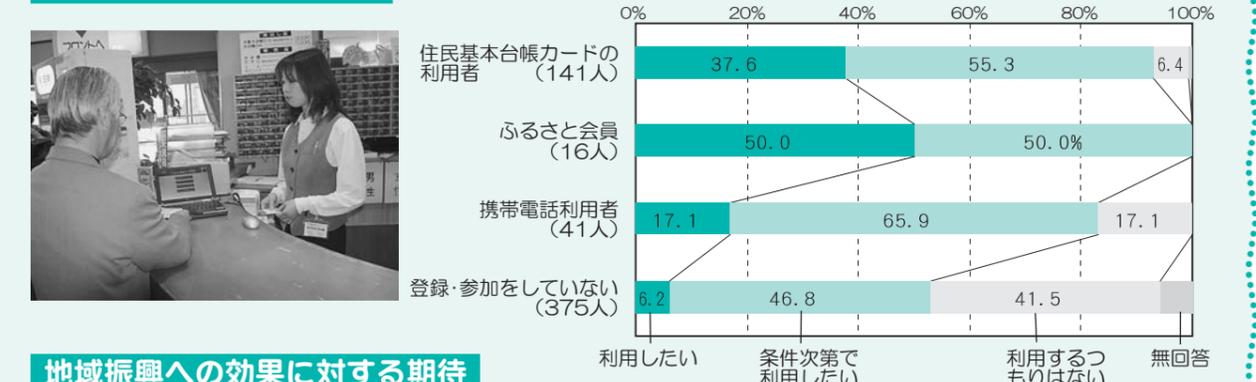
参加者のみなさんには、市内入浴施設や各種イベント、インターネット上のオンラインショップなどでふるさと通貨を使ったり、貯めたりしていただきました。

今回は、その実験に関する結果などについてお知らせします。

利用状況 総利用件数：364件、全流通量：121,178ポイント
うち入浴施設：290件（ためる：136件、つかう：154件）、オンラインショップ：31件（ためる：15件、つかう：16件）、市主催イベント43件（ためる：43件）

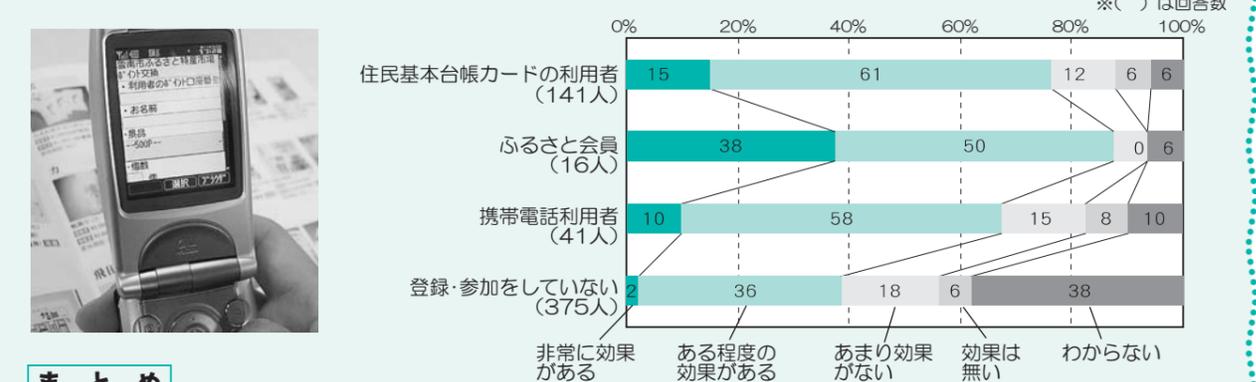
実証実験に対する評価 実証実験の内容を評価するために、市民1,340名（587名、回収率：43.8%）を対象にアンケート調査を実施しました。

ふるさと通貨の利用意向 【問】今後ふるさと通貨を利用したいですか？ ※（ ）は回答数



地域振興への効果に対する期待

【問】ふるさと通貨を広げていくことで市内の地域活動や経済活動を活発にしていきたいと思いますか？ ※（ ）は回答数



まとめ

住基カードを財布代わりに利用することで、市内においては、入浴施設を中心として一定レベルでポイントが循環しました。また、アンケート結果から地域通貨に対する市民の期待は比較的高いことから、利用機会を増やす（利用可能な店舗や施設、取扱い商品などを増やす）などして運用していく必要があります。

携帯電話やインターネットを利用したオンラインショッピングサイトは、ふるさと会員を対象として実施したが、高齢者が多いこともあり、参加が少なく、そのため今後実施にあたっては、高齢者等への端末設定サポートや若い世代の利用が行われるような商品選定などをして運用する必要があります。

今後、市では今回の実験結果を検証し、アンケート結果、課題などを踏まえ、同事業の実施にあたりともに、電子行政推進のため引き続き住基カードや公的個人認証サービスの普及に取り組んでいきます。

【問】政策企画部情報政策課 ☎0854-40-1015